



2020年10月26日

各位

会社名：株式会社エスティック
代表者：代表取締役社長 鈴木 弘英
(コード番号：6161 東証第二部)
問合せ先：専務取締役管理部長 伊勢嶋 勇
(TEL 06-6993-8855)

業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年4月27日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期の業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年3月21日～2021年3月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	4,820	770	764	504	203.31
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率 (%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	6,773	1,772	1,754	1,193	460.78

修正の理由

2021年3月期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症のグローバルな感染拡大が顧客の設備投資の動向に与える影響について合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、最近の業績動向を踏まえ現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定いたしましたのでお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症が世界中で蔓延するなか、緊急事態宣言も解除され徐々に経済活動が活性化し始めてきた状況のなか、国内顧客におきましては多くの客先で実施されていた訪問制限や接触制限も徐々に解除され、段階的ではありますがその設備投資動向が徐々に把握できる状況になりつつあります。しかし海外顧客におきましては、依然として現実的には渡航が困難な状況が継続しており、顧客動向の把握や案件の調整が行いづらい環境にあります。当社が主力販売先としております自動車業界の設備投資については、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しつつ設備投資計画の再編中の顧客が多く、当期後半から翌期初頭あたりから設備投資が上向きになると予測しております。

以上の状況より連結業績予想を上記のとおり修正するものであります。ただし、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波の感染拡大のリスクもあり、第3四半期以降その影響が事業活動に大きな影響を及ぼす場合は速やかに業績見通しの修正開示を行います。

2. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2020年4月27日発表)	—	—	—
今回修正予想	—	42.00	42.00
当期実績	0.00		
前期実績 (2020年3月期)	0.00	97.00	97.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しており、安定した配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

上記の基本方針のもと、当社グループの連結業績を勘案し、2021年3月期の1株当たりの年間配当予想につきましては、42円といたします。

(注) 上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上